

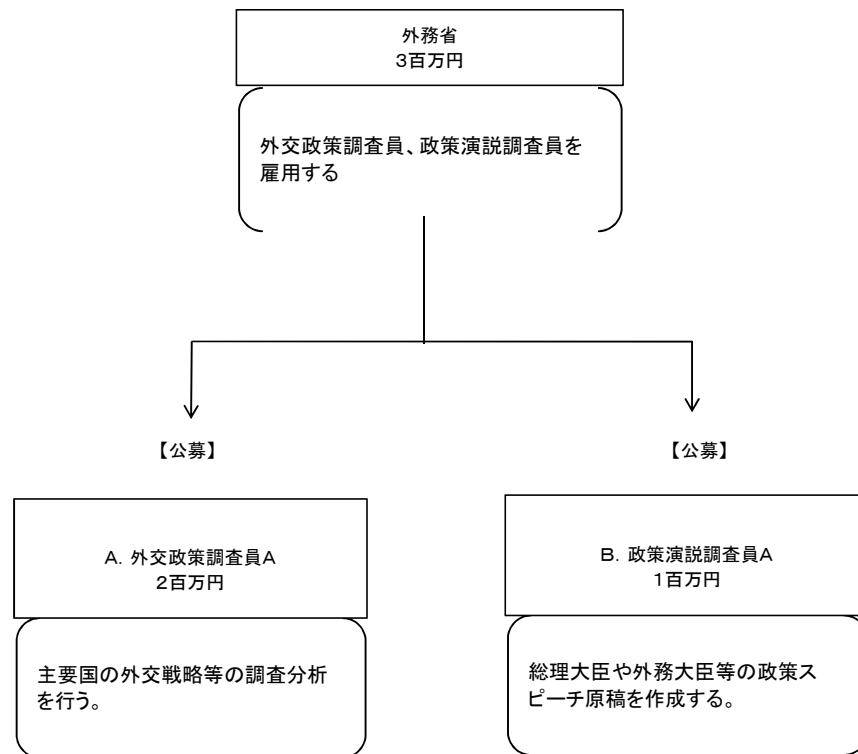
平成23年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	政策構想力の強化	担当部局庁	総合外交政策局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度	担当課室	政策企画室	室長 中村 亮				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅱ－1 国際の平和と安定に対する取組					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項 外務省組織令第31条第2項	関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	①外交政策調査員雇用経費 中長期的な外交政策を企画立案していくための基礎情報を得るため、専門的知見を有する研究者を採用し、主要国の外交戦略や国際情勢等を調査・分析する。 ②政策演説調査員雇用経費 外交政策の効果的な展開のためには、各国の政策決定層のみならず、その支持基盤である各国の一般国民層に対して効果的に発信することが必要不可欠であり、そのためには、総理大臣や外務大臣等が我が国の外交政策についてインパクトのある政策演説を実施することが特に重要である。政策演説調査員の雇用は、広範な知識と格調高い文章力を有する外部人材を採用し、総理大臣や外務大臣等の政策演説を起案せしめることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①国際関係論、地域研究、歴史研究等の専門的知見を有する研究者(修士修了以上)を採用し、欧米をはじめとする主要国の中長期的外交戦略等の特定テーマに関する調査研究に従事させるための経費。 ②総理大臣、外務大臣等の政策演説原稿作成及び右に関連する業務に従事させるための経費。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	1	1	3	4	6	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	1	1	3	4	6	
	執行額	1	1	3				
執行率(%)	86.5	94.1	103.2					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	①外交政策調査員は、我が国の外交政策企画・立案に直接関係するテーマについて政策企画資料を作成することにより、より有効な外交政策の企画・立案に寄与。直接的な成果実績提示は困難となるが、参考となる指標として、右政策企画資料が配付された幹部及び課室概数(延べ数)を記入。		成果実績①	人・課室概数	200	250	300	300
	②政策演説調査員の雇用は、訴求力の高い演説作成により日本の主要外交政策に対する理解の増進を図ることを目標とする。総理・外相の外交政策に関する演説は、国内外の主要報道機関によって報道されており、諸外国政府及び国内外の世論による理解の維持・向上につながっている。一例として、米国における対日信頼度を掲載する。		成果実績②	%	米国における対日信頼度(一般の部)(外務省実施世論調査より)	同左	同左	
			達成度①	%				
			達成度②	%	80	79	84	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	①外交政策調査員による政策企画資料作成数		活動実績	本	2	4	6	5
	②政策演説調査員による総理・外相等の演説作成数		(当初見込み)	本	—	8	11	15
単位当たりコスト	①外交政策調査員:267,523(円/本) ②政策演説調査員:113,439(円/本)		算出根拠	①外交政策調査員 単位当たりコスト＝調査員雇用経費執行額1,605,136円/資料作成数6本 ②政策演説調査員 単位当たりコスト＝調査員雇用経費執行額1,247,825円/演説作成数11本				
(単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	外交政策調査員雇用経費	2,034	2,008	雇用日数見直しによる増				
	政策演説調査員雇用経費	1,495	3,744					
計	3,529	5,752						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	外交政策調査員に関しては、資料作成前のみならず、作成途中においても当方の問題意識を細かく伝えることができ、結果として当方のニーズに沿った資料を仕上げる事が可能となっている。 政策演説調査員に関しても、保秘の観点や、演説の作成過程において迅速な対応が必要となる場合が多いことから、当室において雇用することが効果的である。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本件調査員雇用経費については、各調査員の作業状況を常時確認し、外交政策の企画、政策演説の作成作業の効率的な実施に努めた。今後とも外交政策の企画立案及びその効果的な発信に役立てるため、適切な人材を雇用し、予算の効率的な執行を図っていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		－	
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
	－		
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.外交政策調査員A			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	外交政策調査員A 賃金	2			
	計		2	計		0
	B.政策演説調査員A			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	政策演説調査員A 賃金	1			
	計		1	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 外交政策調査員A

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	外交政策調査員A	主要国の外交戦略等の調査分析を行う	2	公募	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. 政策演説調査員A

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	政策演説調査員A	総理大臣や外務大臣等の政策スピーチ原稿を作成する	1	公募	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					